

# 河原田盛美って だれ?!

— 会津出身水産官僚の軌跡から  
地域振興の視点と活動を考える —



## 【趣旨説明・活動軌跡】

高江洲 昌哉 (国際常民文化研究機構共同研究(奨励)代表、  
神奈川大学外国語学部国際文化交流学科講師)

## 【パネル報告】

中林 広一 (神奈川大学外国語学部国際文化交流学科助教)  
「沖縄物産志」から考える河原田盛美

中野 泰 (筑波大学准教授)  
河原田盛美による水産改良  
— 水産巡回教師としての知識と方法を中心に —

伊藤 康宏 (鳥根大学生物資源科学部教授)  
山陰の水産殖産興業と河原田盛美

増田 昭子 (法政大学沖縄文化研究所国内研究員)  
河原田盛美の地方からの殖産興業

小野 まさ子 (沖縄県教育庁文化財課)  
河原田資料から見た、河原田盛美と沖縄の関わり

土井 康弘 (神奈川大学工学部講師)  
伊藤圭介から田中芳男に引き継がれた天産物研究構想

大嶋 陽一 (鳥取県立博物館主任学芸員)  
鳥取の珊瑚細工について

## 【コメント】 (ゲストスピーカー)

田崎 公司 (大阪商業大学経済学部経済学科准教授)  
河原田 宗興 (南会津町教育委員会)  
石田 正子 (河原田盛美 子孫・資料管理者)

## 【総合討論】

### 〈司会〉

泉水 英計 (神奈川大学経営学部国際経営学科教授)  
高江洲 昌哉 (神奈川大学外国語学部国際文化交流学科講師)



2017. 3/11 [Sat.] 10:00-17:40  
神奈川大学横浜キャンパス 1号館 308 会議室

【お問い合わせ】神奈川大学 国際常民文化研究機構

神奈川県横浜市六角橋 3-27-1 〒221-8686  
Tel.045-481-5661 Fax.045-481-3155

国際常民文化研究機構 <http://icfcs.kanagawa-u.ac.jp/>  
日本常民文化研究所 <http://jominken.kanagawa-u.ac.jp/>  
神奈川大学 <http://www.kanagawa-u.ac.jp>

**参加無料**  
事前申し込み不要

主催：神奈川大学国際常民文化研究機構 International Center for Folk Culture Studies



## 河原田盛美ってだれ?! ー会津出身水産官僚の軌跡から地域振興の視点と活動を考えるー

南会津出身の河原田盛美（1842～1914）は、内務省の官僚として明治初年の「琉球処分」に関わったあと、農商務省に移り水産局の技手となり水産巡回教師として全国各地の水産業改良に関わり「水産翁」と呼ばれるような貢献をした。退官後は郷里に戻り県議員を務める傍ら、郷土の地域振興にも尽力している。また『沖縄物産志』をはじめ水産関係の書物（漁家永続法、水産小学など）も多数著している。高江洲昌哉を代表とする「河原田盛美における本草学的知識から近代勤業的実践の転換に関する研究」班は、2014年度・15年度の2年にわたり、南会津河原田家の資料調査をはじめ沖縄県・鳥取県・大阪府・兵庫県などで研究会や資料調査をおこなってきた。2年間の研究活動を総括する今回のフォーラムでは、河原田盛美の知識と実践を通して、常民文化を活用するための歴史的な知の集積を提示する。

## 【講師紹介】

●高江洲 昌哉（神奈川大学外国語学部国際文化交流学科講師）  
神奈川大学大学院歴史民俗資料科学研究科博士後期課程修了。  
立川市史編集委員（近代史部会）、東アジア近代史学会（常任理事）、日本アーカイブズ学会（学会委員）などに所属。

## ○主な著書

『近代日本の地方統治と「島嶼」』（ゆまに書房、2009年）

●中林 広一（神奈川大学外国語学部国際文化交流学科助教）  
中国農業史・食物史。立教大学大学院博士課程後期課程修了。

## ○主な著書

『中国日常食史の研究』（汲古書院、2012年）、『春耕のときー中国農業史研究からの出発』（共編 大澤正昭・中林広一、汲古書院、2015年）

●中野 泰（筑波大学准教授）

民俗学。近年の研究は戦後民俗学方法論（GHQと民俗学）、民俗学史。陸前高田市文化財等保存活用計画策定委員会委員（2013-2014）、日本民俗学会、地域漁業学会に所属。

## ○主な著書

『近代日本の青年宿一年齢と競争原理の民俗』（吉川弘文館、2005年）、『島と海と森の環境史（シリーズ日本列島の三万五千年一人と自然の環境史：4）』（共著、文一総合出版、2011年）

●伊藤 康宏（鳥根大学生物資源科学部教授）

水産史、水産経済論。京都大学大学院農学研究科博士課程修了。漁業経済学会、地域漁業学会に所属。水産史研究会世話人。

## ○主な著書

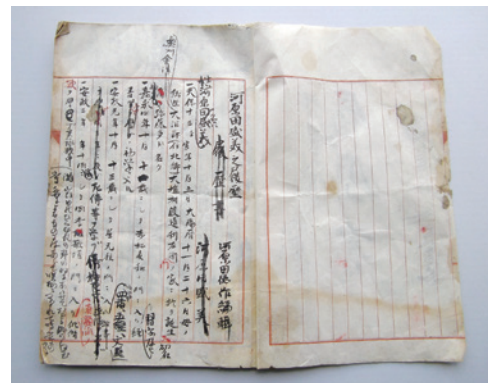
『帝国日本の漁業と漁業政策』（編著、北斗書房、2016年）、『山陰の魚漁図解』（今井出版、2011年）

●増田 昭子（法政大学沖縄文化研究所国内研究員）

法政大学沖縄文化研究所・国内研究員。  
早稲田大学教育学部卒業、立教大学兼任講師（2008年まで）。第48回柳田賞受賞。立教大学アジア地域研究所、日本民俗学会に所属。近年の研究課題は南会津の伝統的食を地域住民との協業による現在の活用を目指す実践的食文化研究。

## ○主な著書

『粟と稗の食文化』（三弥井書店、1990年）、『雑穀の社会史』（吉川弘文館、2001年）、『在来作物を受け継ぐ人々』（農村漁村文化協会、2013年）



1

●小野 まさ子（沖縄県教育庁文化財課）

琉球史、近年は琉球・沖縄女性史および産業史。『琉球王国評定所文書』、『新沖縄県史』等の史料編集に関わる。琉球大学法文学部卒業。歴史教育者協議会に所属。

## ○主な著書

『伝統の中の女性②貢納される布と女性たち』（『日本の時代史18 琉球・沖縄史の世界』、吉川弘文館、2003年）、『沖縄県史各論編4 近世』（共著、沖縄県教育委員会、2005年）、『沖縄県史各論編8 女性史』（共著、沖縄県教育委員会、2016年）

●土井 康弘（神奈川大学工学部講師）

日本科学史、日本近世史・近代史。法政大学大学院日本史学専攻博士課程満期退学、博士（学術）  
日本科学史学会、化学史学会、日本医史学会、日本科学技術史学会、洋学史学会などに所属。

## ○主な著書

『日本初の理学博士 伊藤主介の研究』（皓星社、2005年）、『本草学者 平賀源内』（講談社、2008年）

●大嶋 陽一（鳥取県立博物館主任学芸員）

東京学芸大学大学院修士課程修了、倉吉博物館（鳥取県）勤務を経て、現職。鳥取地域史研究会、関東近世史研究会ほかにも所属。

## ○主な著書

『中国地域の藩と人』（共著、中国地方総合研究センター、2014年）、『戦後70年鳥取と戦争』（編著、鳥取県立博物館図録、2015年）、『古今童謡を読む 日本最古のわらべ唄集と鳥取藩士野間義学』（共著 尾原昭夫・酒井董美・大嶋陽一、今井出版、2016年）ほか。

●田嶋 公司（大阪商業大学経済学部経済学科准教授）

近世・近現代日本社会経済史。東京大学大学院経済学研究科第2種博士課程単位取得修了。

●河原田 宗興（南会津町教育委員会）

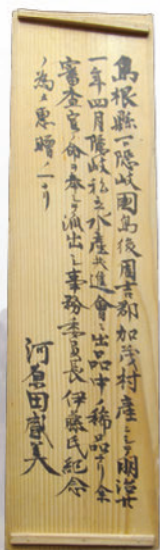
地域史。伊南村史編集室員を経て現在に至る。近年の研究課題は地元絵師渡部南嶽について。上州街道について。

●石田 正子（河原田盛美子孫・資料管理者）

1. 河原田盛美履歴書（草稿）
2. 東道盆
3. 隠岐水産共進会より「稀品恵贈」の箱裏書
4. 鳥取県下清国向け水産一覧



2



3



4



## ●交通アクセス

- 東急東横線「白楽駅」または「東白楽駅」下車 徒歩 13 分
- 横浜駅西口バスターミナルから横浜市営バスを利用  
1 番乗場 36 系統 菅田町／緑車庫行「神奈川大学入口」下車  
1 番乗場 82 系統 八反橋／神大寺入口行「神奈川大学入口」下車  
※駐車場がございませんので、自家用車のご来場はご遠慮ください。

## 神奈川大学日本常民文化研究所

〒221-8686 神奈川県横浜市神奈川区六角橋 3-27-1

Tel: 045-481-5661 (代) <http://jominken.kanagawa-u.ac.jp/>